

他社製品予算管理システムクラウド移行

概要

他社製品等で構築された予算システムを Oracle Planning and Budgeting Cloud Serviceに移行します。クラウド環境への移行によりサーバインフラの運用負荷を軽減し、またレガシーソフトウェアからの機能アップをはかります。

主な対象製品

- IBM COGNOS
- SAP BPC
- SQL Server OLAP Service
- Adaptive Planning
- その他EPMをうたう製品

移行のメリット

- ◆ これまでの導入実績とそのパフォーマンスから予算収集だけでなく、収集後の分析も踏まえたキューブの構築が可能となります。また、他社が有しない大量データでの高速集計エンジンを利用しこれが可能です。
- ◆ 予算の積み上げとしてのボトムアップ集計のみでなく、上位組織からの予算入力集計が可能となります。
- ◆ 予算入力において、WebもEXCELも共通の入力画面を共有でき、また各機能も同じく利用可能となります。
- ◆ 他社ではオプション・割引購入となっているスケジューラ・データ連携機能、伝票明細参照機能（ドリルスルー）、EXCELを使ったデータ入出力機能が費用の中に含まれています。
- ◆ 開発環境が費用の中に含まれていま

す。

- ◆ クラウド環境での処理を社内からWindowsコマンドプロンプトまたはUNIX Shellで実行可能
- ◆ 各機能のパラメータ設定・データをファイルに一括出力し、またこれを取込むことが可能なため、開発環境と本番環境、オンプレミス環境・クラウド環境への移行が容易
- ◆ サーバのハードウェア・ソフトウェア運用が不要になるため情報システム部の負荷減
- ◆ バージョンアップ作業が不要になるためこの費用負担減
- ◆ バックアップ等のメンテナンス時間を自由な時間に指定できる

移行方法

本製品は予算管理システムとして必要な機能を網羅しており他製品の同等以上機能を持っています。これら製品からの移行は下記の方法によります。

- ◆ データベース（キューブ）機能
データを共有するためのキューブマスタ階層については下記の方法で移行します。
(手入力管理階層マスタ)
予算種類・バージョン等、製品提供のWebもしくはEXCEL経由での管理機能を利用します。
(自動連携階層マスタ)
科目階層マスタ、組織階層マスタ等、現行システムで連携されている場合は、そのファイルを極力再利用します。財務会計科目から管理会計科目に変換をかけているものについては、製品付属の変換機能を利用

他社製品予算管理システムクラウド移行

◆ 入力画面

現行画面レイアウトを維持する方向で調整し移行します。移行したレイアウトはWeb経由でもEXCEL経由でも同レイアウトで入力できるよう調整します。

ライセンス調整の都合でEXCELファイルを担当者に配布されている場合は、製品機能で自動出力することを前提に作業を行います。

◆ レポート・分析画面

現行レポートレイアウトを維持する方向で調整し移行します。

◆ 固定帳票

現行画面レイアウトを維持する方向で調整し移行します。製品機能により組織等ドロップダウン切替が可能なPDFレポート出力、またはEXCELからの定型レイアウト出力等検討し最適な出力方法を提案いたします。

また、経営層向けに決まって出力されるPowerPointまたはEXCELレポート一式についても、製品機能により自動出力できるよう検討します。

◆ 分析帳票

現行画面レイアウトを維持する方向で調整し移行します。

分析内容により、製品提供のWeb上での分析とEXCELアドインを使用した詳細分析機能の2種類の方法を検討します。

また、固定帳票機能において、組織等のドロップダウン機能、製品分類から個別製

品へのドリルダウン明細展開等が可能なため固定帳票機能による移行の検討も行います。

◆ 集計計算・KPI計算・配賦計算

組織階層等マスタ階層に沿った積み上げ集計、粗利率等のKPI計算はキューブ内に埋め込みが可能であり変更が容易になるためこの方式でなるべく実装を検討します。

その他上記で移行が困難で多段階配賦等、現行システムがスクリプト計算機能を有している場合は、これを製品機能のスクリプト計算機能に置き換えることを検討します。

予算種類とそのバージョン間のデータコピーについては製品に実装されています。

◆ データアクセス権限と

ユーザ・グループ・役割管理

現行システムに沿ってセキュリティ設定とユーザ・グループおよび役割設定を再設計し登録を行います。製品提供機能で手登録になる可能性があります。現行システムで上記設定用連携用ファイルが用意されている場合は、こちらの自動連携も検討します。

◆ データ連携

会計実績・販売実績等連携ファイルについては、現行システムの連携ファイルが流用できる場合はこれを使用します。現行予算管理システムと本製品の取り込みフォーマットは似たレイアウトになっている場合が多いため流用する想定です。

他社製品予算管理システムクラウド移行

◆ ワークフロー

他製品では本製品と類似の機能を実装されている場合が多いため、現行システムに合わせた形でワークフロー機能を設定します。

プロジェクト作業概要

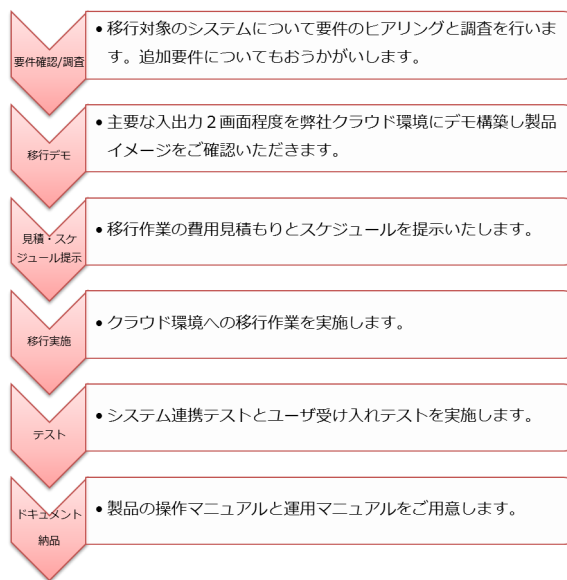
移行作業のご依頼から導入までの主な作業フローは下記の通りとなります。

要件確認時に下記資料をご用意ください。

ー現行システム資料

要件定義書・設計書・運用マニュアル

ー現行システム試用環境（開発機可）



費用

120万円～

対象とする対象他社製品、追加開発物により増減します。